



平成29年9月29日(金)

学力向上だより

深谷市立川本南小学校

【平成29年度 全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果】

平成29年度 全国学力・学習状況調査(6年児童対象)及び埼玉県学力・学習状況調査(4・5・6年児童対象)の結果についてお知らせいたします。

調査結果をもとに、本校児童の課題を明確にし、一人一人の学習状況の改善につなげていきます。これからもご理解とご協力をお願いいたします。

全国学力・学習状況調査(6年児童対象)の結果

平均正答率

(単位 %)

年度		国語A	国語B	算数A	算数B
H29	川本南小	76.9	61.5	75.7	45.5
	県	74.7	56.7	76.0	44.6
	国	74.8	57.5	78.6	45.9

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査92項目より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	川本南小	県	国
生活習慣	毎日朝食を食べている	100.0	96.5	95.4
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	92.5	83.5	79.8
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	92.5	92.7	91.2
	学校のきまりを守っている	95.0	95.1	92.6
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強している	87.5	70.3	64.5
	家で学校の宿題をしている	100.0	97.8	96.9
	家で、学校の授業の予習をしている	70.0	50.5	41.0
	家で、学校の授業の復習をしている	85.0	61.3	53.8
教科への関心	国語の勉強は好きだ	72.5	60.9	60.5
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	97.5	89.6	87.9
	算数の勉強は好きだ	77.5	65.2	65.9
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	95.0	90.5	89.1
その他	将来の夢や目標をもっている	85.0	87.4	85.9
	人が困っているときは、進んで助けている	90.0	87.0	85.3
	自分には、よいところがある	85.0	79.8	77.9
	今住んでいる地域の行事に参加している	75.0	60.1	62.6

埼玉県学力・学習状況調査(4・5・6年児童対象)の結果

平均正答率

(単位 %)

年度	教科	国語			算数		
	学年	小4	小5	小6	小4	小5	小6
H29	川本南小	64.0	66.9	70.9	58.5	56.7	63.8
	県	67.3	67.6	68.2	61.8	61.6	62.3

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値

(単位 %)

		小4		小5		小6	
質 問 事 項		川本南小	県	川本南小	県	川本南小	県
生活習慣	・脱いだ履き物のかかとをそろえる	83.8	84.0	84.6	87.6	92.5	89.1
	・自分からはっきりあいさつをすることができる	83.9	81.1	89.7	82.1	85.0	82.1
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる	87.1	84.1	87.2	85.7	87.5	83.8
学習習慣	・学校の宿題をしている	96.7	94.8	100.0	96.4	100.0	97.0
	・家で、授業の予習や復習をしている	74.2	70.9	71.8	72.1	90.0	71.7
	・平日、学校以外に1時間以上勉強している	45.2	54.3	58.9	58.4	90.0	64.7
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き (勉強する理由として)	64.5	76.9	84.6	71.3	82.5	65.1
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ (勉強する理由として)	90.4	88.7	92.3	88.8	97.5	92.0
	・学級での生活は楽しい	93.6	92.9	87.2	91.4	95.0	91.0
その他	・将来の夢や目標をもっている	83.8	89.6	87.2	91.2	85.0	87.5
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	80.6	78.9	84.6	82.2	90.0	79.3
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	67.7	69.6	71.8	71.3	87.5	67.5

<裏面もご覧下さい>

全国学力・学習状況調査(6年児童対象)の結果より

「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】

- 国語 A・国語 B とともに、全国や県の正答率より高い。
- 領域でみていくと、国語 A では「書くこと」「読むこと」「言語事項」、国語 B では「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で、全国や県の正答率より高い。
- 領域でみていくと、国語 A では「話すこと・聞くこと」で、全国や県の正答率より低い。
- 司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの考えの共通点や相違点を整理する問題に課題がある。
- 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように話す問題に課題がある。

【算数】

- 算数 B は、県の正答率より高い。
- 領域でみていくと、算数 B では「数量関係」で、全国や県の正答率より高い。
- 算数 A は、全国や県の正答率より低い。
- 領域でみていくと、算数 A・B とともに「数と計算」「図形」で、全国や県の正答率より低い。
- 計算の順序についてのきまりを、具体的な場面と結びつける問題に課題がある。
- 適切な判断のために、基準量・比較量・割合の関係を的確に捉え、判断の理由を数学的に表現する問題に課題がある。

【質問紙】

- 家で宿題や授業の予習、復習と計画的に勉強している児童の割合が、全国や県と比べて高い。
- 全ての児童が、毎日朝食を食べている。
- 国語や算数の勉強が好きだという児童の割合が、全国や県と比べて高い。
- 将来の夢や目標をもっている児童の割合がやや低い。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・互いに意見を述べ合う中で、各自の考えを広げたり深めたりできるように、意図的、計画的に機会を設定する。
- ・授業の中で自分の立場を明確に説明したり、事実と感想、意見とを区別したり、結論付けを明確にしたりすること、その場に応じた最も適切な表現をする活動を取り入れ、児童の言語活動の充実を図る。

【算数】

- ・計算の順序について、具体的な場面と結び付けながら説明し合う活動を多く取り入れる。
- ・示された情報と場面を図や言葉などに表し、数量の関係を的確に捉えさせ、説明する活動を多く取り入れる。

【その他】

- ・深谷市授業スタンダード(めあて、見通し、振り返り)を活用した授業展開をする。
- ・考える時間を確保し、個に応じた指導の充実を図る。
- ・本時の学習過程や児童の思考過程が分かる板書を行い、児童が何をどう書いていくか分かりやすいノート指導を充実させる。
- ・場面に応じたグループ学習での話し合いを取り入れ、自分の考えを説明する機会を増やし、思考力や表現力を高めていく。

埼玉県学力・学習状況調査(4・5・6年児童対象)の結果より

「よかった点(○)」と「課題(●)」

【国語】

- 6年生は、県や市の正答率より高い。
- 領域でみていくと、5年生は「言語事項」、6年生は「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」で、県や市の正答率より高い。
- 5, 6年生は、H28年度からH29年度の学力の伸び幅が県平均よりも大きい。
- 4, 5年生は、県や市の正答率より低い。
- 領域でみていくと、4年生は「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」、5年生は「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で、県や市の正答率より低い。
- 条件に沿うことや目的に応じて理由をあげながら、自分の考えを明確に書く問題に課題がある。
- 説明的文章の読み取りの問題に課題がある。

【算数】

- 6年生は、県や市の正答率より高い。
- 領域でみていくと、4年生は「数量関係」、6年生は「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」で、県や市の正答率より高い。
- 4, 5年生は、県や市の正答率より低い。
- 領域でみていくと、4年生は「数と計算」「量と測定」「図形」、5年生は「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」で、県や市の正答率より低い。
- 正答率が低い学習内容は、除法の余りの意味やわられる数の求め方、長方形の意味や四角形の特徴、円の半径の長さを選ぶことや直方体の展開図の重なる辺、四則の混合した式や()を用いた式の計算や数量の関係を式で簡潔に表す等である。
- 文章を読み、適切なものを選ぶ問題に課題がある。
- 問題が後半になるにつれて、無解答率が高い。

【質問紙】

- 全体的に県と比べて高い。
- 家で宿題や授業の予習、復習等をしている児童の割合が県と比べて高い。
- 4, 5, 6年生とも、将来の夢や目標をもっている児童の割合が県と比べて低い。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・説明文の楽しさや読み取り方がわかる工夫をする。
- ・「書きぬく」指導を丁寧に行う。物語文では、登場人物を人物関係図に表し、行動や会話、描写を手がかりに、性格や心情の変化、思いや考えを書き込んでいく学習活動を取り入れる。

【算数】

- ・朝学習「さんさんタイム」で、課題を踏まえ、1～3年生は各学年で重要な内容、4～6年生は過去の全国学力学習状況調査B問題に取り組ませる。
- ・基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着を図り、単元のはじめで既習事項を十分に振り返らせ、レディネスをそろえる。

【その他】

- ・朝学習(国語、算数)において、反復練習をする時間を確保し、繰り返し取り組ませる。
- ・場面に応じたグループ学習での話し合いを取り入れ、自分の考えを説明する機会を増やし、思考力や表現力を高めていく。
- ・読書量の確保として、家庭読書週間の継続を実施する。

